

町報

No.259

こうふ

1992

10月

発行：江府町役場

〒689-44 鳥取県日野郡江府町大字江尾475
☎0859 (75) 2211 F A X 0859 (75) 2389

編集：総務課

印刷：富士印刷

晩秋一色



(御机の子どもたち)

いつまでもお元気で



▲お年寄りに記念品の目録を渡す福田町長（下安井）

長寿こそ、すばらしいことはありません。

数え年九十二歳以上の皆様（二十五人）に、

福田町長が高齢者宅を訪問し、長寿のお祝を

いたしました。

高齢者の方には、記念品と目録を、ご家庭

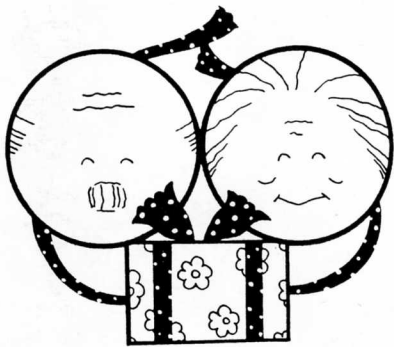
の方には介護手当と感謝状を贈り、その介護

の労をねぎらいました。

今年は、新たに三人の方が九十二歳になら

れ、数え年七十二歳以上の高齢者には記念品

を贈りました。



いつまでも

いつまでも

お元気で



遠藤 才さん
(貝田)



谷田 益代さん
(貝田)



八加部 銀市さん
(本町一)



白石 しげよさん
(本町一)



白石 ひさよさん
(本町一)

高齢者

92歳以上

顕彰

25人

のみなさん

- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 吉原 新見 まつさん(九十七歳)
明治二十八年二月九日生 | 明治三十一年六月六日生
(小椋 博さん 母) | 本町四 下村 一代さん(九十三歳)
明治三十二年八月三十日生 | 下蚊屋 小椋よしよさん(九十二歳)
明治三十三年八月二十五日生 |
| 久連 水下さみよさん(九十六歳)
明治二十九年二月十日生 | 柿原 奥田をたねさん(九十四歳)
明治三十一年六月二十五日生 | 本町四 下村 耕朗さん(養母)
(小椋 喜美さん 祖母) | 下蚊屋 亀田 恒秋さん(九十二歳)
明治三十三年九月二十八日生 |
| 本町四 住田ひさよさん(九十六歳)
明治二十九年五月十六日生 | 美用 川上 りつさん(九十四歳)
明治三十一年七月五日生 | 貝田 森田ふでをさん(九十二歳)
明治三十三年二月十五日生 | 大河原 亀田 幸満さん(父)
明治三十三年十一月二十三日生 |
| 池の内 加藤わかよさん(九十六歳)
明治二十九年十一月一日生 | 荒田 井上 柳次さん(九十三歳)
明治三十二年四月十九日生 | 大河原 清水 むらさん(九十二歳)
明治三十三年二月二十三日生 | 吉原 天野 都治さん(九十二歳)
明治三十三年十一月二十三日生 |
| 新町二 手島 清子さん(九十五歳)
明治三十年五月二十日生 | 貝田 遠藤くらのさん(九十三歳)
明治三十二年六月九日生 | 小江尾 篠田 藤吉さん(九十二歳)
明治三十三年十一月二十三日生 | 下蚊屋 篠田 勇夫さん(父)
明治三十四年三月一日生 |
| 御机 川上ちとせさん(九十四歳)
明治三十一年三月十七日生 | 杉谷 加藤ともよさん(九十三歳)
明治三十二年六月二十八日生 | 下蚊屋 梅田とよのさん(九十二歳)
明治三十四年三月一日生 | 杉谷 山野 ふじさん(九十二歳)
明治三十四年五月十三日生 |
| 下蚊屋 小椋あさのさん(九十四歳)
(川上八千穂さん 母) | 柿原 加藤むめよさん(九十三歳)
明治三十二年八月二十九日生 | 下安井 中村 徳代さん(九十二歳)
明治三十三年七月七日生 | 加藤ともよさん(は、十月二十七日
におなくなりになりました。) |

米寿をお迎えになつた皆様に郵政大臣から記念品

江尾郵便局を通じて真心のプレゼント



仲田 槌治さん (下蚊屋)



岡 照雄さん (御机)



新 力さん (御机)



宇田川 きくのさん (新道)



下垣 きんぬさん (美用)



三輪 静子さん (下安井)



松原 千代さん (深山口)



加藤 政吉さん (池の内)



下村 きすよさん (佐川)



森谷 光さん (佐川)



井上 益治さん (荒田)

町のスローガン

町民憲章が誕生!!

町制四十周年を記念して

制定審議会で

検討重ねて

町民の皆様から募集して

りました町民憲章が制定審議委員会で検討を重ね、このたび十月十四日の臨時議会において、議会の同意を得て、町制四十周年の記念式典で発表されました。

六月三日に町民憲章準備委員会が発足し、七月、町民の皆様へ町民憲章の募集を行いました。

その結果、六件の応募があり、十月七日に町民憲章制定審議委員会（鳥取大学の道上教授をはじめとする学識経験者、議会代表、団体役員、行政の一〇人）で応募を頂いたご提案をもとに検討を重ねて、決定したものです。

この町民憲章は町民一人ひと

りが豊かな自然と伝統を大切にし、お互いの自覚と誇りを持ち、江府町に住んで良かったと言える明るく豊かな町づくりの実現を図るための町のスローガンです。

この町民憲章には、一項目ごとに次のような意味合いが含まれています。

明るい

町づくりのために

一、人を敬う、やさしい心を育てましょう。

①人権を重んじ、明るく豊かな住み良い町づくりに努めましょう。
②心身ともに、健康で生きがいのある町づくりに努めましょう。

一、健康で安らぎのある明るい家庭をつくりましょう。

①家族みんなで話し合い、老人と子供が生きがいを感ずる健康で明るい家庭をつくりましょう。

②スポーツをとおして、すなおな心と強いからだをつくりましょう。

一、自然を活かし、個性ある豊かな町をつくりましょう。

①ふるさとの豊かな自然を守り育て緑にみちた環境をつくりましょう。
②豊かな実りを目指し、自然をいかした産業の発展と創造に努めましょう。

一、教養を高め、清新な文化の創造につとめましょう。

①郷土の文化や伝統を守り育て継承しましょう。
②みんなで心を合わせ、新しい文化をつくりましょう。

一、きまりを守り、安全で快適な社会を築きましょう。

①町民一人ひとりが郷土をになう一員であることを自覚しましょう。

②たがいに信頼しあう人間関係をづくり、差別のない明るい町をつくりましょう。

私たちの町の将来の指針となる町民憲章。

ご応募を頂いた皆様をはじめ多くの方々にご尽力を賜りましたことを紙面を通じて、厚くお礼を申し上げます。

江府町町民憲章

わたしたちは、豊かな文化と自然を受けつぐ江府町民です。豊かで快適な町をつくるためこの憲章を定めます。

一、人を敬う、やさしい心を育てましょう。

一、健康で、安らぎのある明るい家庭をつくりましょう。

一、自然を活かし、個性ある豊かな町をつくりましょう。

一、教養を高め、清新な文化の創造につとめましょう。

一、きまりを守り、安全で快適な社会を築きましょう。

制定年月日 平成四年十月十四日



▲タスキをとどける交通安全母の会のみなさん

お年寄りに 反射タスキを渡す — 交通安全母の会 —

交通安全母の会（会長加藤初恵さん）では溝口警察署と協力して、お年寄りの家庭を訪問し反射タスキやチラシを配り、交通安全を呼び掛けました。急増する交通事故。特に高齢者が巻き添えになる事故は後をたちません。また、溝口警察署の方からは、高齢者を狙っての悪質な商売も多く、何でも近くの交番に相談してくださいと訴えました。



▲みんなで力を合わせて花の手入れ

真心のボランティア 花の手入れに汗流す 池の内のみなさん

花いっぱい運動が各地で行われていますが、ここ、俣野の池の内でも、有志が集まって花の手入れの奉仕活動が行われました。花いっぱい運動が各地で行われていますが、ここ、俣野の池の内でも、有志が集まって花の手入れの奉仕活動が行われました。花いっぱい運動が各地で行われていますが、ここ、俣野の池の内でも、有志が集まって花の手入れの奉仕活動が行われました。花いっぱい運動が各地で行われていますが、ここ、俣野の池の内でも、有志が集まって花の手入れの奉仕活動が行われました。

江府町が厚生大臣表彰 に輝く

＝保健事業推進功労＝

積極的な保健衛生活動が
みとめられて



▲なごやかな雲田気の機能訓練（開発センター）

このたび、江府町の保健衛生活動が認められ、厚生大臣表彰を受賞いたしました。

十月七日、東京の厚生省において、表彰式があり、全国で二十八市町村と十四団体が受賞し、江府町は鳥取県で唯一。

これは、県下で最上位の受診率の住民検診と機能訓練の積極的な取組みが認められたものです。

また、婦人検診も五〇%を起え、県下一の受診率を誇っています。

福田町長は各集落での行政座

談会の折々に「健康は住民検診から」と訴えられたこととともに鳥取県においては、検診車が各町を訪問検診したことも大きな要因といえると思います。健康の町として更に住民の健康に細かい気配りを実施して参ります。



人事紹介

教育委員長

影山 猛氏

教育長

加藤 努氏



影山 猛



加藤 努

このたび、九月三十日をもって

妹尾衛教育委員長、遠藤克美教育長が任期満了となり、新しく木村悦子さん、加藤努さんが教育委員になりました。

なお、四月に辞職されていた教育委員の川上卓雄さんの後任は九月二十五日に川上富夫さんがなりました。

そして、十月一日付をもって、教育委員長は影山猛さん、教育長は加藤努さんが就任され、教育委員会は次のとおり決定いたしました。

しました。

- 教育委員長 影山 猛
- 同委員長 加藤美佐子
- 代行者 木村 悦子
- 教育委員 川上 富夫
- 教育委員 加藤 努

建設課長に

人事異動
小澤 籌正
(商工観光課長)

九月三十日付
退職 板井 久(建設課長)
退職 松原良枝(農林課長補佐)

献血 お世話になりました

十月十四日に献血車が江府町に参りました折、次の皆様にご協力いただき

きましたので、紙面を通じてお礼申し上げます。ありがとうございます。

太字は四〇〇〇〇の献血を頂いた方々です。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 江府町農協本所前 | 江尾郵便局前 |
| 津長宇相河西川澤 | 砂新田大 |
| 澤岡川見合村上口 | 口見本谷 |
| 美千紀照博弘幸 | 子里子美男樹恵勉 |
| 惠千紀照博弘幸 | 山岩原福池池北牧瀧岡池伊白川中角小赤 |
| 江府町役場前 | 江尾郵便局前 |
| 三加宇清井阿太森中谷千山藤宇小長森桑山 | 山岩原福池池北牧瀧岡池伊白川中角小赤 |
| 上藤川水上部田田野口藤川原川林岡田原本 | 山岩原福池池北牧瀧岡池伊白川中角小赤 |
| 子潔司み親厚也志志正市明亀治一彦巧優 | 山岩原福池池北牧瀧岡池伊白川中角小赤 |
| 由美 孝あ朝 哲厚博 浩 千健邦勝 | 山岩原福池池北牧瀧岡池伊白川中角小赤 |
| 昭二史涉保夫治昭文士一己夫男之明志之 | 山岩原福池池北牧瀧岡池伊白川中角小赤 |
| 研千佳 博明真輝忠和健利将悦俊 高昌 | 山岩原福池池北牧瀧岡池伊白川中角小赤 |
| 根田田川本信村内野本田東川上原田川松 | 山岩原福池池北牧瀧岡池伊白川中角小赤 |
| 敬称略 | 山岩原福池池北牧瀧岡池伊白川中角小赤 |

井上健治氏 自治大臣表彰に輝く



井上健治氏

十月五日、全国都市会館において、前江府町長の井上健治さんが自治大臣表彰を授与されました。

これは、永年にわたり、町長として地方自治行政に貢献された、その功績が高く評価されたものです。

町行政に多大な貢献をされた井上健治さんに心よりお祝いを申し上げます。



農業の体験を

書いて みませんか

|| 農山漁村婦人の生き方に関する作文コンクールに応募を ||

農業を営む婦人が日常生活を通して、日頃色々と考えていること、抱負、提言などの作文を募集します。

○応募方法

①テーマ

A 「記帳を生かしたわが家のくらしと経済」

B 「農山漁村に生きる私の抱負」

テーマはA・Bのどちらかの部門で、タイトルは自由

②応募資格

農林漁業に従事する婦人の

方。

③その他

四〇〇字詰原稿用紙に横書きで三枚〜五枚程度。

テーマ・タイトル・住所・氏名(ふりがな)・年齢を記入して下さい。

○応募しめ切り

十一月二十五日(水)

○提出先

〒六八〇 鳥取市東町一丁目

鳥取県農林水産部農業改良課

(〇八五七一一二六一七二七四)

○表彰

審査委員会の選考により、知事賞二点、優秀賞五点、佳作数点を決定し、平成五年二月十日(水)開催の農山漁村婦人の日推進大会で表彰を行います。

ねたきり

防止講習会

の開催

お年寄りがねたきりになる要因には様々な理由があります。その大きな原因である脳卒中や骨折などを予防することや介護等について、次のとおり講習会が行われますので、ふるってご参加して下さい。

○日時

十一月二十日(金)
午後一時〜四時

○会場

日野町山村開発センター

○内容

講演及び実技
「いきいきと老いるために」
―寝たきりからの脱出―

・講師

元森本外科脳神経外科

医院

婦長 石賀純子先生

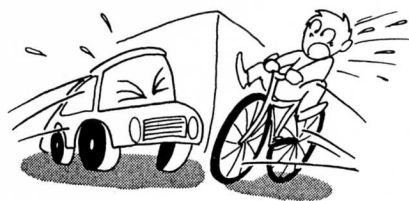
・実技

○主催

根雨保健所

無料相談

交通事故のは 相 談 は お気軽にどうぞ



○相談所

鳥取市今町一丁目一〇三

住友生命ビル三階

(社)日本損害保険協会

鳥取自動車保険請求相談センター

〒〇八五七一一二四一四三三三

○相談日

月曜〜金曜

午前九時半
午後四時四〇分

(社)日本損害 保険協会

とは?

昭和二十一年一月に設立した日本損害保険協会は、昭和二十三年に社団法人として認められ現在、二十五社の損害保険会社を社員とする事業者団体です。

事業内容として、損害保険に関する諸問題の調査、研究や各種保険の改善に関する調査などを行っています。

なお、この「自動車保険請求相談センター」は日本損害保険協会のサービス機関で、皆様のために親身にご相談に応じています。

鳥取県労働基準局からのお知らせ

労働保険(労災・雇用保険)への加入手続きを

の加入手続きを

労働省では十月「労働保険適用促進月間」の実施が行われましたが、まだ未手続き事業所もあるようです。

労働保険は労働者が労働災害や失業等の保険事業に遭遇した時、必要な保険給付を行うとともに、生活の安定、再就職の促進等を図ることが目的です。

労働者を一人以上雇用していれば、法律に基づき加入しなければなりません。

まだ、手続きが行われていない事業主は、是非加入されましようお知らせします。



年末調整の

説明会

平成四年分給与所得者の「年末調整説明会」を次の日程で行

います。

●日時 十一月十八日(木)
午後一時三〇分～四時

●場所 溝口町中央公民館
(溝口町役場に隣接)

●日時 十一月十六日(月)
午前十時～十二時

●場所 江府町山村開発センター
江府町農協
(午後二時～四時)
(主催は米子税務署です)

●対象者

江府町に所在する徴収義務者(官公庁・個人の青色事業者を除く)

(詳細は、米子税務署法人課税第一部門〇八五九一三二一四一―二に電話ください。)

青色申告

(平成四年分)

決算説明会

平成四年分青色申告決算説明会を個人事業者を対象として、次のとおり行います。

将来のために

国民年金に

11月は、国民年金制度推進月間です

11月は、「国民年金制度推進

月間」です。

国民年金は、年をとったとき、また思わぬ事故や病気で障害者となったときに、国民共通の基礎年金を支給し生活の安定

を図ることを目的とした公的年金制度です。

明るく健やかな老後を送るため、自分自身の年金について今一度見つめ直してみましよう。

税を知る週間 11月11日～17日 この社会あなたの税がいきている。

暮らしを支える税

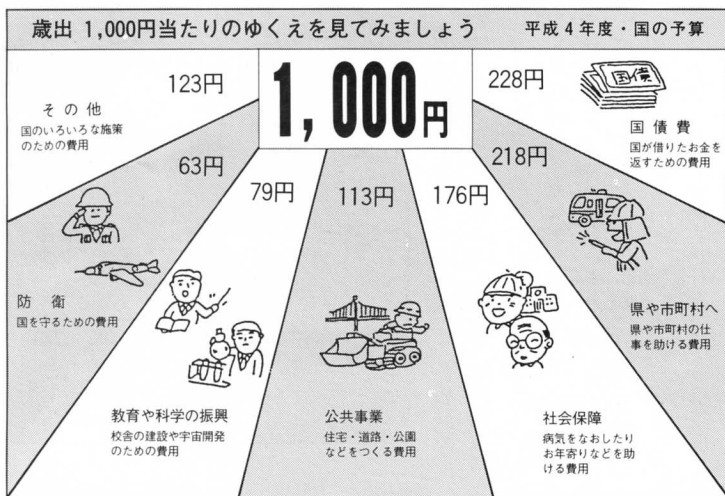
あれこれ

十一月十一日から十七日まで税を知る週間です。

税金は、私たちが安心して生活していくための公共サービスや施設。また、国や地方公共団体の主要な財源として、つかわれています。そのために、義務

として税金を納めるのではなく、税金のしくみや使いみちについて十分知る必要があります。

この週間には次のように、税についての相談や税金展なども開催されますので、ご覧ください。



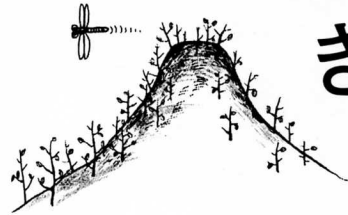
「税の無料相談と税金展」

- 11月12日(木)～14日(土) 午前10時～午後5時
- 米子市高島屋 1階東側入口
(主催 米子税務署)

人の動き

9月届け

お誕生
おめでとう



本一 小林 良太

健治 長男

柿原 加藤 慶恵

愛敬 長女

御机 加藤 翔

義也 二男

武庫 梅林 大樹

琢也 長男

ごめい福を

祈ります

小江尾 土居 市夫 66歳

一幸宅

吉原 天野 米子 84歳

忠雄宅

貝田 岡田 正宜 87歳

峯晴宅

小原 谷口 忠治 84歳

雅教宅

ご結婚を
祝します

宇田川 聡 武庫

藤原 紀子 侯野から

(9)

ひとつこと
ふたこと

自らの限界に挑む サスペンス作家山村美紗さんの インタビューを聞いて

境港市民会館で行われた公開録画・NHK週刊レビュー(衛星放送)十月二十五日)を見ました。

ゲストは推理小説家の山村美紗さん。時々山村美紗さんの小説を読んだことがあり、一度お話しを聞いてみたかった矢先のことでした。

中学校の教師をお辞めになつてから、現在まで、約二十五年間で二〇四冊を書き上げたというバイタリティーの持ち主。

今も、月初めの十日間は一日に二十時間書き続けるという。

一日に書き上げる、原稿用紙

(四〇〇字詰)の枚数約一〇〇

枚。計算すると一時間に五枚のペース。しかも、テレビをつけたままでの執筆活動。(テレビをつけているのは情報収集と単調な仕事にアクセントをつけるため)そして、全部手書き。

私もこうして時々書くことが仕事ですが、一枚の原稿を書くのに一〜二時間は十分かかります。その上に、小説を読んだ方はお分かりだと思えますが、あの絶妙なトリックを考え出されるわけですから、普通のものには到底できそうもないように思えます。

トリックを考える上で、創造力のたくましさや作品の舞台となる状況等を緻密に情報を収集しておられます。

たとえば、ある京都を舞台にした小説に車が〇〇通りの〇〇〇角を左折したとあるとそこは一方通行なのにと思ったりすると、感想を漏らしておられました。

四〜五時間の睡眠で決して、お若いとは言えない山村さんの小説にかけける情熱の一端に触れ、限界への挑戦、自らの可能性への探求等、考えさせられた著名作家のインタビューでした。

(係)

編集後記

▼町制四〇周年記念式典が多くのご来賓をお迎えし、盛大に開催されました。江府町も次の五〇周年に向けて船出。

そして、この町制四〇周年を記念して新しい町勢要覧が完成。過去を物語り未来を描く町勢要覧との考えをもとに作成しました。全員モデルさんも江府町の人。こんなに素敵なお男性、女性がいただろうかとときっと思われることと思います。

まもなく、皆様のご家庭にも配布いたしますので、ご期待いただきたいと思います。

▼晩秋をテーマにした表紙と裏表紙といたしました。

今年は今一歩、紅葉の色が悪いような気がするとは取材先での古老の言葉。

しかし、多少の色が悪くとも毎年、こんなきれいな景色を眺めることができる私たちは幸せものです。

土日は県外のお客様でいっぱいなので朝早く大山方面へ行くのがお勧めです。

朝の弱い方、たまには早起きして大山の紅葉を独りじめにしたいいかがですか。



全山紅葉

みごとに色づいた山々

休日ともなれば、紅葉をもとめて行楽客の車が数珠つなぎとなる奥大山周辺の道路。

ここ奥大山甘酒茶屋では、スイングベルが、季節の曲を奏で、牧歌的な秋の雰囲気を漂わせます。

三色に輝く噴水のほとりにたたずんで、四方の山々がおりなす自然の一大パノラマを心ゆくまで楽しんでみてはいかがでしょうか。

(上の写真は国民宿舎甘酒茶屋のハーモニーステージ周辺)